

2019年の浦河桜まつり・優駿さくらロードへの来訪者数について

第52回 優駿の里 浦河桜まつり 5月4日(土・祝)・5日(日・祝)
来場者は桜まつり2日間 合計 9,500人

桜の見ごろ期間(5/1~5/10)の優駿さくらロードへの来訪者数は30,600人

一般社団法人 浦河観光協会（会長：木田尚孝）は、2019年5月4日(土・祝)・5日(日・祝)にうらかわ優駿ビレッジAERU 特設会場にて開催した「第52回 優駿の里 浦河桜まつり」の来場者数及び、今年の桜の見ごろ期間（5月1日～9日）の『優駿さくらロード』への見学者数を次の通りまとめ、今年の特徴、トレンドと合わせて発表いたします。

【第52回 優駿の里 浦河桜まつり 会場来場者数】 2日間 合計 9,500人

5月4日(土・祝) 5,000人 <天気>AM：快晴 PM：快晴 ※2018年 3,000人

5月5日(日・祝) 4,500人 <天気>AM：快晴 PM：快晴 ※2018年 2,000人

「第52回優駿の里 浦河桜まつり」は会期全2日間、快晴の天气に恵まれ、昨年のほぼ倍、近年で過去最高の来場者数がありました。

要因として、①天候に恵まれたこと、②10連休という過去にない大型ゴールデンウィークで中盤の天气が崩れたため連休後半に近場へのお出かけが集中したこと、③広告宣伝強化の効果（札幌市営地下鉄への中吊広告掲出、折込みチラシのエリア拡大など）が考えられます。

また、新企画の高所作業車に乗って高い位置から桜を楽しむ「桜を上から見てみよう！」や会場で貸し出すレンタル自転車も好評でした。

桜の開花状況の問い合わせ、桜まつり「特設サイト」へのアクセスも年々増えており、ゴールデンウィーク家族お出かけイベントとしての浦河桜まつりの評価、「桜のトンネル」の人気の高まりを感じます。



【優駿さくらロード 見学者数】 5/1(水)~5/9(木) 9日間 昼夜合計 30,600人

日中 (6:00-18:30) 22,200人 (平均 2,460人/日) ※2018年 1,200人/日

ライトアップ (18:30-21:00) 8,400人 (平均 930人/日) ※2018年 400人/日



今年の「優駿さくらロード」桜並木ライトアップ期間9日間の昼夜合計の見学者数は、昨年の倍以上の30,600人に上りました。

今年は桜並木開花後の気温が低い日が多く、例年と比べて桜の見ごろ期間が長く続き、見学者数集計を終了した5/9(木)以降も多く入込みがあったため、実数はもっと多かったと推測されます。

5/6(月)、道内TV2局 (HTB・UHB) 昼のお天気コーナーで担当気象予報士が前日に自ら撮影した桜の写真を紹介いただきました。「優駿さくらロード」桜名所としての人気定着を感じています。

浦河観光協会は、「うらかわ千本桜」桜並木見学を機会にこれまで以上に多くの皆様に浦河町を訪問してもらい、春だけでなく年間を通しての観光客誘致や地域のファン獲得につなげていきたいと考えています。今年の桜開花期間中の観光客の動向を踏まえ、来年はより多方面からの集客を目指して、さらなる発展を図ってまいります。